

(仮 訳)

プレス・リリース

2013 年 12 月 17 日
バーゼル銀行監督委員会

**バーゼル銀行監督委員会がマーケット・リスクの
リスク・アセット計測の整合性評価に関する第 2 次報告書を公表**

バーゼル銀行監督委員会(以下、「バーゼル委」)は本日、「マーケット・リスクのリスク・アセット計測の整合性評価に関する第 2 次報告書」を公表しました。この調査は、バーゼルⅢの枠組みの統合的な実施を確実にすることを目的とした、さらに範囲の広い規制上の整合性評価プログラム(RCAP)の一環です。

本報告書は、2013 年 1 月に公表されたバーゼル委が行なった最初の調査に続くものです。また、本報告書は、前回分析の対象範囲をより代表的かつ複雑なトレーディング・ポジションに広げました。今次報告書の結果は、前回報告書の結果と整合的であり、規制上の資本を算出する内部モデルを用いたマーケット・リスクの計測において顕著な相違が示されました。また、より複雑なトレーディング・ポジションにおいて相違の幅が概して広がることが示されています。

本分析では、銀行間のマーケット・リスクに関わるリスク・アセット(以下、mRWA)の相違の最大の要因が、モデル化に際しての選択の相違であることが確認されました。また、本分析結果では、前回報告書によって特定された mRWA の相違を削減する政策提言(以下)を支持するものとなっています。

- (i) ディスクロージャーや mRWA を理解する上で一助となる規制データの徴求を改善する。
- (ii) 銀行によるモデル化の選択余地を狭める。
- (iii) モデル承認に際し、規制上の実務の協調を更に高める。

2013 年 10 月には、バーゼル委は、mRWA の相違の幅を縮小する上記の政策提言と統合的な一連の手段を含む「トレーディング勘定の抜本的見直し: マーケット・リスク枠組みの改定」を公表しました。また、バーゼル委は第 3 の柱(市場規律)に係る銀行に対する要件を改善する提案を検討しています。これらの提案は銀行によって開示された第 3 の柱に係る情報の比較可能性を向上させ、mRWA に係るディスクロ

ージャーの質、内容そして整合性を高めるものです。これは、利用者にとって、残存する銀行間のリスク・アセットの相違に対する理解を容易にすることにも繋がります。

バーゼル委議長を務めるスウェーデン中銀のステファン・イングベス総裁は、「本報告書はバーゼル委における前回のトレーディング勘定の調査を補完し、補強するものである。本報告書はポートフォリオが複雑になるにつれ、相違の幅が拡張することを示している。これらの結果は、バーゼル委の『銀行勘定のリスク・アセットの整合性に関する報告書』と合わせて、リスク・アセットの相違に対処する上で、現在進行中の我々の作業における重要な情報となった」と述べました。